

	一般的名称	報告の概要
752	ビフィズス菌製剤	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
753	エポエチンβ (遺伝子組換え)	がん患者の貧血治療に関するPhase III試験89試験のオーバービューにおいて、がん患者に対するエリスロポエチン製剤の投与が静脈血栓塞栓症のリスクを増加させることが示唆された。
754	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬使用者は、乳がん発症リスクが高まることが示唆された。
755	セフトリアキソンナトリウム	帝王切開施行患者54例および婦人科手術施行例12例を対象としたプロスペクティブ研究において、術前の抗生物質投与で抗生物質が新生児に移行していることが示唆された。
756	アスピリン	網膜中心静脈閉塞症の患者144名において、多変量ロジスティック回帰解析により、アスピリンの投与がリスクファクターとなることが示唆された。
757	カベルゴリン	カベルゴリンを服用しているパーキンソン病患者は、服用していない患者と比較して、大動脈弁肥厚となるリスクが高まることが示唆された。
758	酪酸菌配合剤	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
759	乳酸菌製剤	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
760	エストラジオール	閉経後にホルモンを使用していた女性において、乳癌となるリスクが増加し、中でも1日2杯以上アルコールを摂取している場合は乳癌発症リスクが高まることが示唆された。
761	ヨード化ケン油脂肪酸エチルエステル	リピオドールを用いて12例に肝動脈塞栓療法を実施したところ、重篤な肝障害 (ALT上昇) が3例に見られた。
762	耐性乳酸菌製剤 (1)	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
763	耐性乳酸菌製剤 (2)	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
764	ビフィズス菌製剤 (4)	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
765	アセトアミノフェン	妊娠第1期のアセトアミノフェン曝露により、児での耳、顔面、頸部の先天異常、内側婁孔／洞／嚢胞の発現リスクが高まることが示唆された。
766	塩酸イリノテカン	70歳以上の日本人非小細胞肺癌患者37例を対象とした第Ⅱ相試験において、UGT1A1*6,*28について対立遺伝子を2つ以上有する患者ではAUC SN-38G/AUC AN-38比の有意な低下が認められ、白血球減少、好中球減少の発現が有意に高かった。
767	メシル酸イマチニブ	妊娠中にイマチニブ投与を受けた女性180例を対象としたレトロスペクティブ研究において、妊娠中のイマチニブ曝露により重篤な胎児異常、自然流産のリスクが増加することが示唆された。